

日本学術会議

若手アカデミー全体会議(第26期・第3回)

議事要旨

日 時 令和6年9月5日(木) 9:00~11:00
会 場 九州大学伊都キャンパス中山ホール及びオンライン会議システム併用

出席者 小野悠、標葉隆馬、南澤孝太、三枝信子、緒方ひとみ、小川剛伸、加納圭、川口慎介、木村草太、河内山拓磨、酒井南美、櫻田涼子、實藤和佳子、菅野早紀、杉本舞、田井明、武田宙也、寺田佐恵子、富永依里子、仲上豪二朗、中谷武志、廣野陽子、藤岡沙都子、堀美香「、前川知樹、門田有希、八尾史、山内紀子、松本大亮、松山亮太

オブザーバー 江端新吾氏(東京工業大学/研究基盤協議会)、手塚茜氏(文部科学省)

議 事

(1) 三枝副会長挨拶

(2) 新メンバー紹介

特任連携会員として新たに若手アカデミーに加わった松本大亮氏および松山亮太氏より、自己紹介が行われた。

(3) 分科会のこれまでの活動について

各分科会の活動報告が行われた。主な活動は以下の通り。

○学術の未来を担う人材育成分科会

研究基盤協議会や文部科学省と連携して研究基盤人材の育成に関して議論。

○ワーク・ライフ・バランス分科会

一時保育施設設置運営ノウハウの普及支援について議論。

○若手主導の異分野融合研究の推進に関する分科会

分野紹介のランチタイム研究会を継続開催。

○国際分科会

World Science Forum サイドイベントへの参加検討。

○未来を拓く学術イノベーション分科会/地域社会とアカデミアの連携に関する分科会

9月4日に若手アカデミー主催でイベントを開催。10月の那須会議を企画運営し、公開シンポジウムの開催も予定。

○情報発信分科会

ウェブサイト更新、サイエンスカフェへの協力、「10の課題」の連載企画など広報活動を推進。

(4) 機能別委員会等の活動について

各委員会メンバーから、26期の活動方針と進捗状況について説明が行われた。

(5) 持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議 2024

日本学術会議が2024年度に主催する国際会議「持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議」が、2025年2月3日に開催される。本会議は若手アカデミーが企画を担当し、「10の課題」をテーマに構成されており、子育て世代が参加しやすい形式での実施を予定している。

(6) その他

オブザーバーとして参加いただいた江端新吾氏および手塚茜氏より話題提供が行われ、メンバーとの意見交換が行われた。

江端氏からは研究基盤政策と研究環境の課題について講演が行われた。意見交換では、研究推進に不可欠なプロジェクトマネジメント職や研究基盤マネジメントを担う技術専門職のキャリアパス整備が進んでおらず、全国的な人材不足が指摘されたほか、「支援人材」という呼称の課題と、研究マネジメント職を創造的職能として魅力的に見える名称や制度設計の必要性が提案された。

手塚氏からは「次の一手」チームの取り組みが紹介された。意見交換では、研究機関や大学ごとの内部ルールの違いや過度な付度により、研究資金の使途が制約される現状が指摘された。文科省が具体的なガイドラインを提示することで、学内ルールの改善や柔軟な運用が進むとの提案があった。